

授業科目 助産診断・技術学 II

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
中山 和美、和田 雅樹 他		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】					
産婦人科医師ならびに小児科医師による講義を通してハイリスクな状態にある対象の理解を深める。また、女性の生殖に関しライフサイクルをふまえた家族計画・避妊について学習を深める。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1 妊産褥婦の生理と異常（病態・治療など）について説明できる					
2 ハイリスク新生児の病態・検査・治療について説明できる					
3 PBL を用いて家族計画ならびに避妊法についてグループで学び、その成果を説明できる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	妊産褥婦の生理と異常に関する病態治療			1	講義
2	妊産褥婦の生理と異常に関する病態治療			1	講義
3	妊産褥婦の生理と異常に関する病態治療			1	講義
4	妊産褥婦の生理と異常に関する病態治療			1	講義
5	妊産褥婦の生理と異常に関する病態治療			1	講義
6	妊産褥婦の生理と異常に関する病態治療			1	講義
7	ハイリスク新生児の病態治療			2	講義
8	ハイリスク新生児の病態・治療			2	講義
9	ハイリスク新生児の病態治療			2	講義
10	ハイリスク新生児の病態治療			2	講義
11	家族計画と避妊法			3	グループワーク
12	家族計画と避妊法			3	グループワーク
13	家族計画と避妊法			3	グループワーク
14	家族計画と避妊法			3	グループワーク・発表
15	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊産褥婦の診断とケア	森恵美責任編集	日本看護協会出版会	2009・3,600円＋税
		助産学講座6 助産診断・技術学 II[1]	我部山キヨ子他編	医学書院	2007・4,800円＋税
参考書		助産師基礎教育テキスト 第7巻 イリリスク妊産褥婦・新生児へのケア	ハ 遠藤俊子責任編集	日本看護協会出版会	2009・4,500円＋税
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
試験 100%		リプロダクティブヘルスケア演習 I・II、母性看護学実習で履修した内容は十分理解したものととして授業を進めます。演習を取り入れ、学んだ知識と技術を統合し、実践能力を高めていくことをめざします。			
出席ならびにグループワークへの参加態度が適切でない場合には減点することがあります		課題意識をもって主体的に学習し、妊娠期における助産師としての役割・態度について考察してください。			